

工場等緑地の事例

市民に開放された水際の緑地
(協働緑化支援事業の事例)

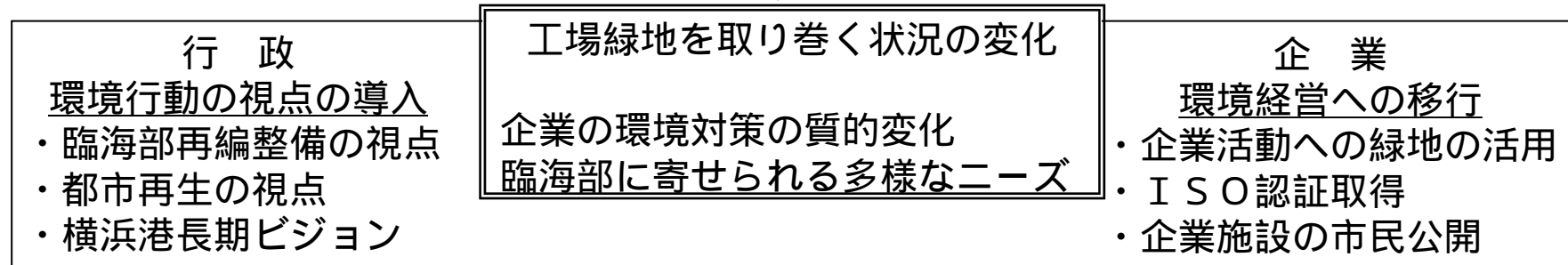
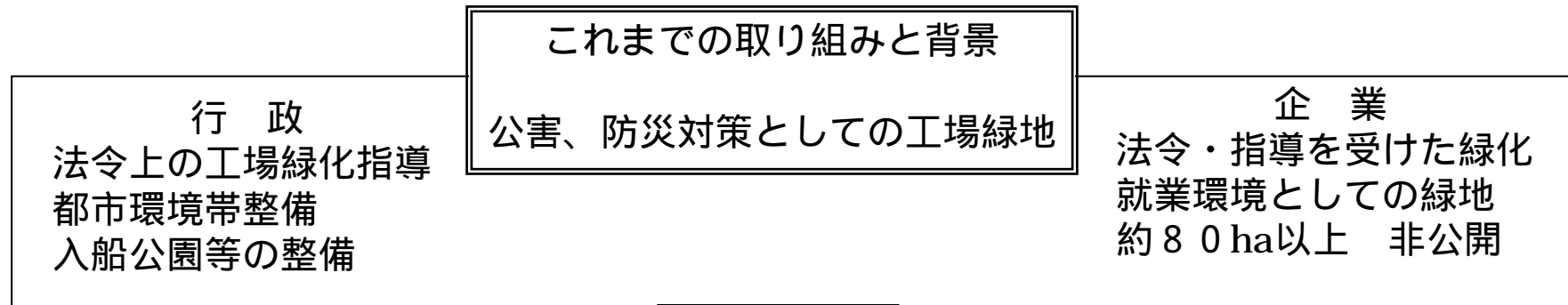


工場等緑地の事例

企業緑地のビオトープ化(緑の質の向上)



企業緑地の進化



工場緑地（公害対策）から企業緑地（環境経営の資産）への転換
新たな視点：地域とのコミュニケーションツール、地域環境資源としての活用

こうした動きを支援することにより、京浜地区の緑の拡充を進めることができる

モデル地区での地区緑化計画の策定



鶴見小野・末広地区



企業との意見交換会

地区緑化計画からの発展

末広地区では、企業と横浜市が「緑の目標」、「緑の将来像」を共有して、「京浜の森づくり」に参加し協働することを宣言しました。



京浜の森づくり末広地区協働緑化宣言

～ 末広地区の新たな風景づくりをめざして ～

緑には かけがえのない自然環境を保全・創造する大切な役割があります。様々な効用を持つ緑を将来に向けてつくり育てていくことが望まれています。

京浜地区は埋立地という特性から古くからの樹林地がありません。そこで 地区にふさわしい環境創造を進め良好な地区イメージをつくり出すためには、企業緑地や公共緑地の新たな確保とともにこれらと市民に身近な水辺の緑や公園施設などの地区の魅力資源を、企業・市民・行政が協働して有機的につなげる取組が必要と考えます。

私たち 末広地区に所在する事業所と横浜市は海に広がる地区に良質な緑の環境をつくり出し、次世代に継承する共有財産とするため全体目標「未来に引継ぐ京浜の森づくり」を具体的に実践し環境行動をアピールしていきます。

ここに私たちが協働で進める緑化の指針として「京浜の森づくり末広地区緑化計画」を策定し、地区の「緑の目標」と「緑の将来像」を共有して、それぞれの立場からの緑の拡充を進めるため「京浜の森づくり」に参加し協働していくことを宣言します。

平成17年12月1日

旭硝子株式会社京浜工場
工場長

JFEエンジニアリング株式会社緑見事業所
常務執行役員緑見事業所長

末広ファクトリーパーク協議会
会長

株式会社ダスキン横浜中央工場
工場長

緑見曹達株式会社
代表取締役社長

東京ガス株式会社環境エネルギー部
部長

東京カス株式会社横浜管理事務所
所長

株式会社東芝京浜事業所
所長

先代工業株式会社
代表取締役社長

ユニバーサル造船株式会社京浜事業所
執行役員京浜事業所長

横浜市長

大江 正人
 殿岡 茂樹
 尾和瀬 裕二
 秋下 重雄
 久保山 純
 長各川 岩
 保坂 茂樹
 服部 靖弘
 中村 文栄
 清水 亮一
 中田 喜



協働緑化事業と支援事業の創設

● 協働緑化事業

企業が環境行動の視点から行う緑地の拡充、活用等を横浜市との協働による緑化活動として支援します。企業と横浜市が協議し、事業の内容等について「覚書」を締結します。

協働緑化支援事業

企業が行う協働緑化事業に対して、助成金の交付や情報提供、助言など技術的支援を行います。

京浜の森ロゴマーク

市民へのPRの他、企業が発行する環境報告書等で、京浜の森づくりへの参加をアピールできます。

公共の緑の拡充事例

ふるさとの緑植樹祭の実施(平成16年6月)



港湾緑地



「京浜の森づくり」今後の事業展開

これまでの取り組み

着実に取り組みを推進
していく

「前出以外の取り組み」

- 緑化技術講習会
企業緑化活動を技術面から支援
- 市民ボランティア講座
市民による緑地管理のリーダー
を育成
- トンボはどこまで飛ぶか
プロジェクト
協働による企業緑地の環境調査

新たな取り組み

地区内に、新たに整備
された緑地を企業との協
働による緑地とみなす特
例の検討

事業者、市民、行政が
連携・協働して管理でき
る仕組みを構築

「京浜の森」の整備

平成19年度より、生麦大黒地区から守屋恵比須地区にかけて、高原基金から寄付を受け緑道を整備します。この緑道は、鉄道敷跡地を活用して行います。整備や管理にあたっては、次の視点で進めていきます。

- 1 市民による植樹、育樹活動
- 2 企業の協働緑化支援
- 3 公有地の緑化推進

敷地外緑地の特例ケーススタディ

この緑道（京浜の森）の整備・管理を企業が負担する仕組みを構築し、敷地内の緑地として算入できるよう、検討を進めていく予定です。

